

テーマ:興味のある日本文化についてフランス語で紹介しよう

レベル:3

<場面状況>

フランスオルレアンで1ヶ月間の語学実習に参加する学生は、現地の日仏文化協会において、日本・日本語に関心があるフランス人に対して、自分たちが興味のある日本文化を紹介する。

<活動の流れ>

学生は自分の興味のある日本の文化的なトピックについて、インターネットを中心に検索し、情報を収集する。その際に、フランスではそのトピックがどのように捉えられているのかも同時に調べる。また、その画像などを収集する。

そのトピックについて1~2ページ程度、収集した画像なども活用しながら、まずは日本語でテキストを作成する。次に、辞書を使い、キーワードとなる用語にフランス語の訳をつけていく。その後、キーワードを使いながらフランス語で1~2ページ程度のテキストを作成する。作成したテキストを集めて冊子にする。

テキストや使用した画像を中心にプレゼンテーションソフトを利用し、プレゼンテーションを作成する。

フランスで日本語を勉強しており、日本に関心があるフランス人に対して、プレゼンテーションソフトを使って、10分程度のプレゼンテーションを行う。その後、そのトピックについて、フランス語中心で質疑応答をして、話し合う。トピックとなっている文化について日本とフランスで比較する。

3×3+3分析

テーマ名: 興味のある日本文化についてフランス語で紹介しよう。

| | 言語領域 | 文化領域 | グローバル社会領域 |
|------|---|--|---|
| わかる | シナリオ中の該当する箇所 ・プレゼンテーション後にフランス人から受けた質問を理解することができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・日本のある文化を紹介する中で、その文化的なトピックにおいて、日本とフランスの共通点・相違点を意識し、気づくことができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・フランス語を学び、表現することが、日本語や日本文化に関心のある人々への情報発信になることを認識する。 |
| できる | シナリオ中の該当する箇所 ・日本語で日本文化を紹介する簡潔なテキストを作成することができる。 ・テキストの中で重要となるキーワードを日本語からフランス語に訳すことができる。 ・日本語で書かれたテキストをフランス語に翻訳し、まとめることができる。 ・プレゼンテーションソフトを利用し、フランス語でプレゼンテーションができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・文化的なトピックにおける日本・フランス間の共通点・相違点について分析し、相手にわかりやすいように紹介することができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・インターネットを使用して興味のある文化的なトピックについて検索し、調べることができる。(情報活用) ・インターネットサイトから画像などをダウンロードし、テキストに貼り付けることができる。(情報活用) ・プレゼンテーションソフトを利用して、プレゼンテーションを作成できる。(情報活用) ・日本文化を発信する存在として責任をもって、フランス語話者と意見交換をして、相互の文化を理解し合う役割を担う。 |
| つながる | シナリオ中の該当する箇所 ・フランス人と取り上げたトピックについて話し合うことができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・自身が提案した文化的なトピックにおける日本・フランス間の共通点・相違点について、相手のフランス人から意見をもらい、より深く議論し合うことができる。 | シナリオ中の該当する箇所 ・文化紹介の冊子を作成することで、現地の人にテキストや写真を見せながら、話しあい、情報を共有していく。 ・冊子を作成することで、次の年にこの実習に参加する学生へと伝えていく。 |
| 三連携 | シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度) | ・好きな文化的なトピックを選ぶことで関心を深める。 | |
| | シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる) | ・大学でフランス語を専門とする学生が1年で勉強する語彙や文法。(欧州基準A2程度) ・テーマにより他教科とのつながり。(社会学、政治学など) | |
| | シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる) | ・現地の日仏文化協会へ訪問し、日本語学習者との交流。 ・トピックによっては、関連するフランスのサイトを検索する。 | |